

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト【位置図】

～ 玉名地域を水災害から守るために流域が一体となった流域治水の推進～

干拓地を中心とした下流部低平地、丘陵地に形成される市街部など、様々な地形特性を持った圏域であることを踏まえ、それぞれの地域の特性に応じた浸水被害を防止する対策を実施するとともに、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる流域治水対策を推進します。

～ 対策メニューの凡例～

赤枠： 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

黄枠： 被害対象を減少させるための対策

緑枠： 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ハザードマップの更新・周知
- ・ため池ハザードマップの作成・周知
- ・防災情報伝達手段の強化
- ・タイムラインの作成、実効性確保
- ・マイ・タイムラインの作成支援
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・避難訓練・防災教育の実施
- ・関係機関との連携強化
- ・防災拠点の整備
- ・自主防災組織の活動支援
- ・下水道施設の耐水化

- ・ハザードマップの更新・周知
- ・ため池ハザードマップの作成・周知
- ・防災情報伝達手段の強化
- ・タイムラインの作成、実効性確保
- ・マイ・タイムラインの作成支援
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、樹木伐採
- ・河道拡幅、堤防整備、線形改良、堤防強化
- ・海岸保全施設の整備
- ・排水機場の更新・整備
- ・農業水利施設の整備
- ・雨水ポンプ場の耐水化
- ・浸水シミュレーションによる浸水対策検討
- ・水田の貯留機能向上(田んぼダムの取組み等)
- ・ため池の補強・有効活用
- ・森林の整備・保全
- ・治山施設の整備
- ・砂防堰堤の整備

被害対象を減少させるための対策

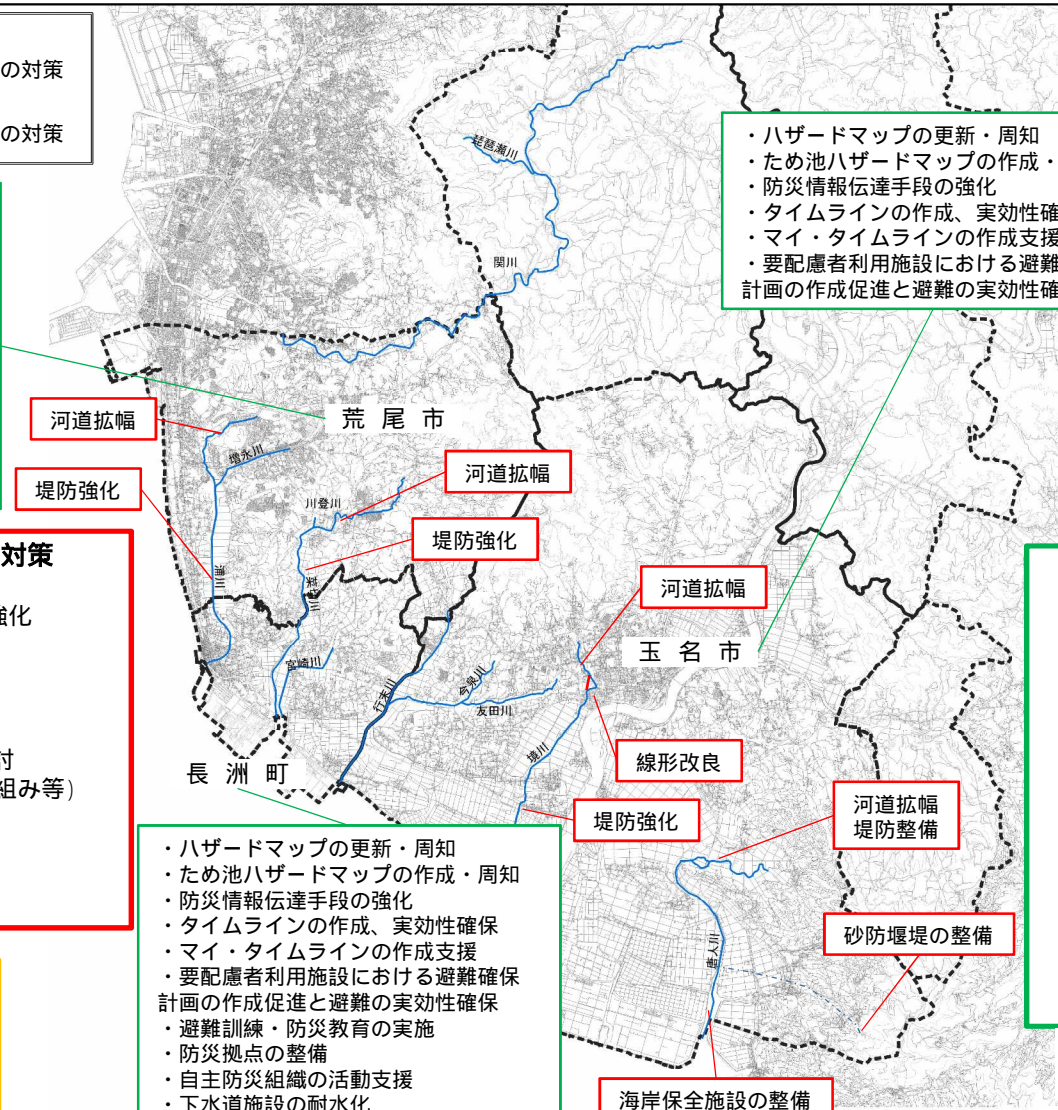
- ・土砂災害警戒区域等の指定
- ・電光掲示板更新
- ・立地適正化計画の策定
- 今後、関係機関と連携し対策検討

- ・ハザードマップの更新・周知
- ・ため池ハザードマップの作成・周知
- ・防災情報伝達手段の強化
- ・タイムラインの作成、実効性確保
- ・マイ・タイムラインの作成支援
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・避難訓練・防災教育の実施
- ・防災拠点の整備
- ・自主防災組織の活動支援
- ・下水道施設の耐水化

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・洪水浸水想定区域図の作成・周知
- ・ハザードマップの更新・周知
- ・ため池ハザードマップの作成・周知
- ・河川情報の充実(水位計・河川カメラ)
- ・防災情報伝達手段の強化
- ・タイムラインの作成、実効性確保
- ・マイ・タイムラインの作成支援
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・避難訓練・防災教育の実施
- ・関係機関との連携強化
- ・防災拠点の整備
- ・自主防災組織の活動支援
- ・下水道施設の耐水化
- 今後、関係機関と連携し対策検討

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。



玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～ 玉名地域を水災害から守る流域が一体となった流域治水の推進～

玉名圏域では県、市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 浸水想定区域図やハザードマップの作成・更新等の被害の軽減、早期復旧のための対策や立地適正化計画の策定等の被害対象を減少させるための対策を中心に進め、流域治水の早期な効果発現を目指します。

【中長期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策も継続して進め、さらなる治水安全度向上、継続的な施設保全を図ります。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、樹木伐採 河道拡幅、堤防整備 線形改良、堤防強化	熊本県、荒尾市、 玉名市、長洲町、 玉名横島海岸 保全事業所	河道掘削、樹木伐採		
			河道拡幅、堤防整備、線形改良、堤防強化		
			海岸保全施設の整備		
	内水氾濫対策	熊本県、荒尾市	排水機場の更新・整備		
農業水利施設の整備					
雨水ポンプ場の耐水化 浸水シミュレーションによる浸水対策検討					
流域の雨水貯留機能の向上	熊本県	水田の貯留機能の向上(田んぼダムの取組み等) ため池の補強・有効活用			
森林の整備・保全 治山施設の整備 砂防施設の整備	熊本県	森林の整備・保全 治山施設の整備 砂防堰堤の整備			
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	熊本県、玉名市	土砂災害警戒区域等の指定 電光掲示板更新 立地適正化計画の策定		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水害リスク情報の充実	熊本県、荒尾市、 玉名市、長洲町	洪水浸水想定区域図の作成・周知		
			ハザードマップの作成、ため池ハザードマップの作成		
			河川情報の充実(水位計、河川カメラ) 防災情報伝達手段の強化		
	避難体制等の強化	熊本県、荒尾市、 玉名市、長洲町	タイムラインの作成、実効性確保 マイ・タイムラインの作成支援		
要配慮者利用施設における避難確保 計画の作成促進と避難の実効性確保					
避難訓練・防災教育の実施 関係機関との連携強化 防災拠点の整備 自主防災組織の活動支援					
スケジュールは今後の事業進捗によって、適宜変更されます。					
下水道施設の機能確保	荒尾市、長洲町	下水道施設の耐水化			

流域治水対策内容 (玉名圏域二級水系)

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

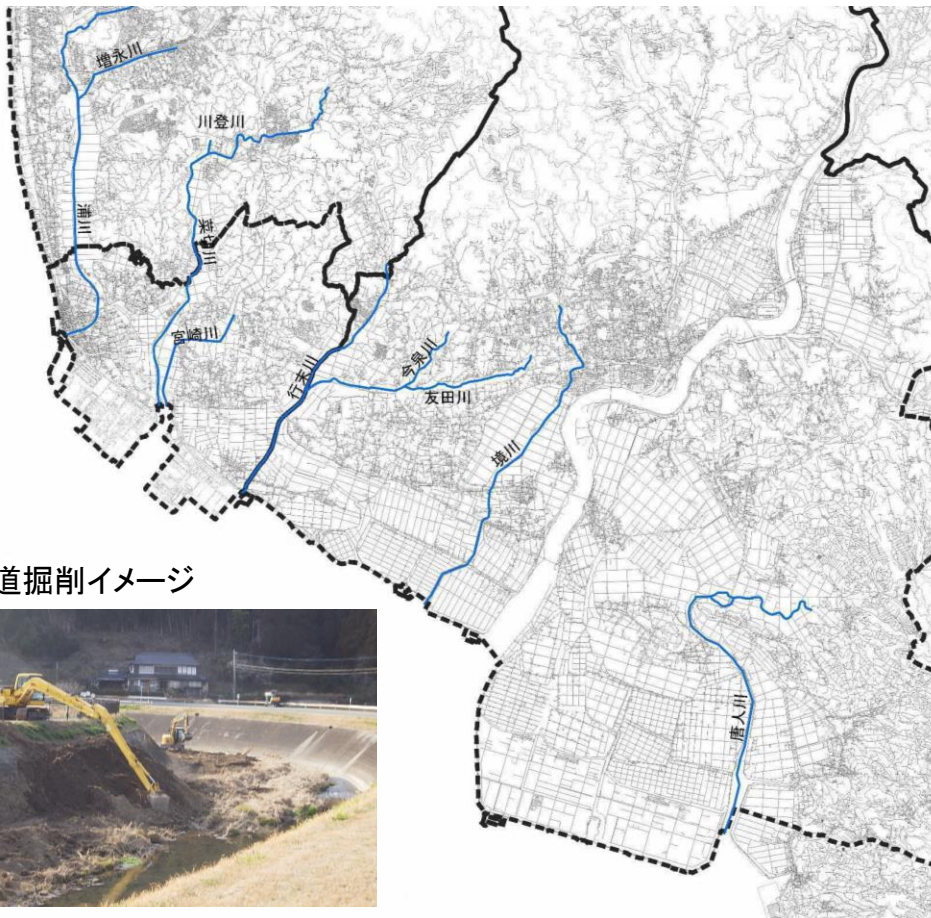
【熊本県】

■河道掘削、樹木伐採

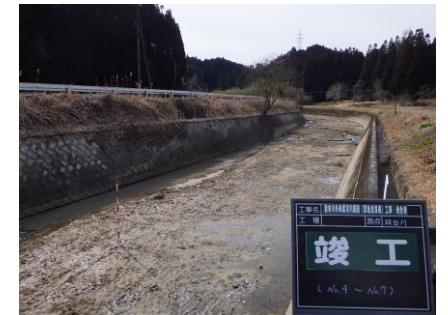
熊本県では浸水被害低減のためのハード対策として、県管理河川の河道掘削及び樹木伐採を実施します。

【施工前】

【施工後】



河道掘削イメージ



玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

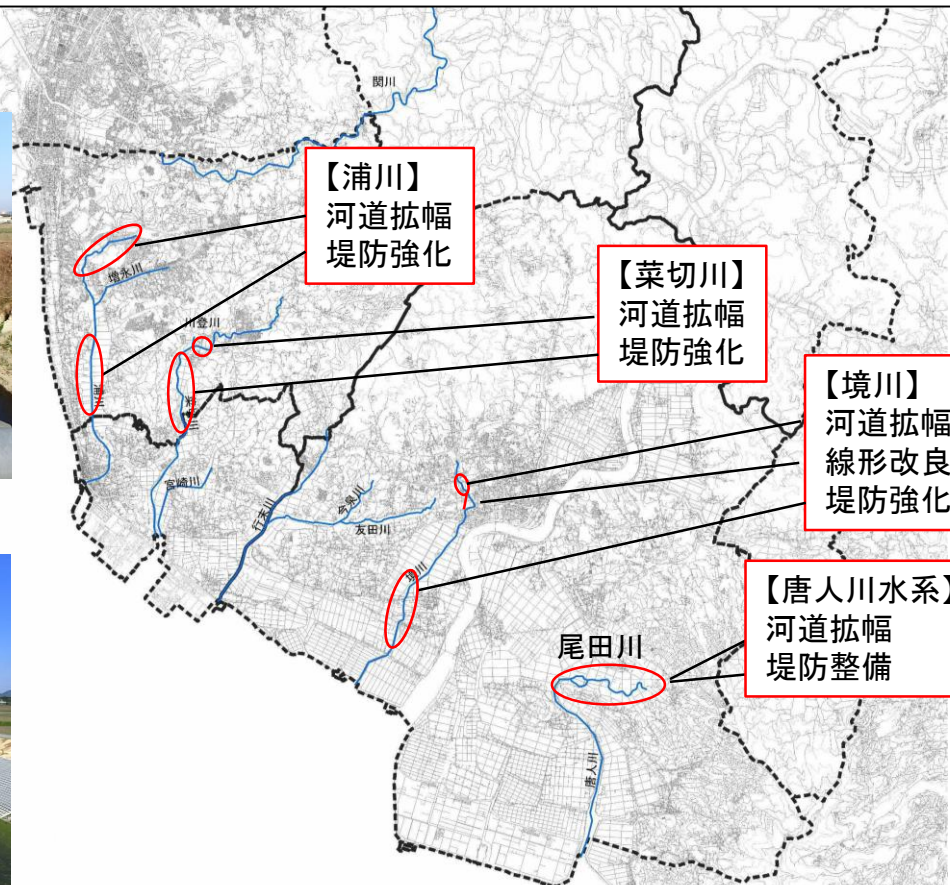
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

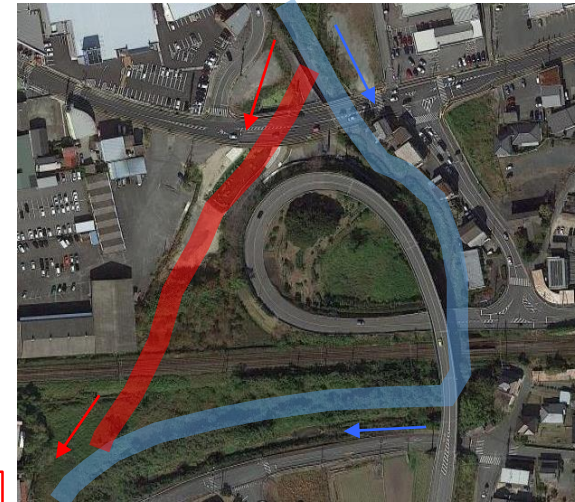
■河川整備

熊本県では浸水被害低減のためのハード対策として、県管理の二級河川における河道拡幅、堤防整備、堤防強化、線形改良を実施します。

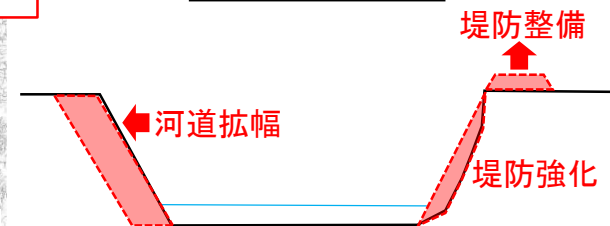
堤防強化(浦川、菜切川、境川)



線形改良(境川)



河川整備イメージ



「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 3JHs 1024」

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

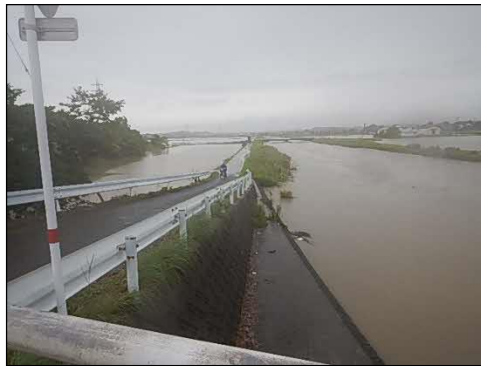
【熊本県】

■排水機場の更新・整備

農業農村整備事業で整備した排水機場は、優良農地の湛水被害低減に加え、周辺住民の安全安心に寄与しています。

一方、設置後耐用年数を大幅に経過した施設が多く、能力の低下が危惧されることから、計画的な更新整備を進めます。

農地の湛水状況



排水機場の整備



着工前



玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

■水田の貯留機能向上(田んぼダムの取組等)

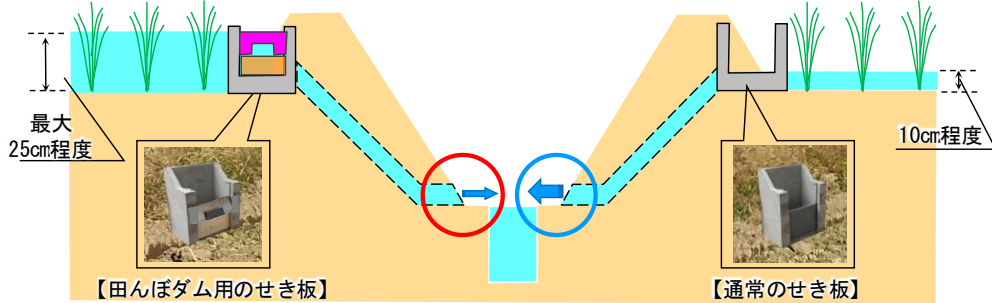
実証実験が開始された人吉・球磨地域において田んぼダムの効果検証を行い、課題を整理した上で、熊本県全域への展開を検討しています。

○田んぼダムの仕組みについて

・水田の排水柵に流出量を調整するせき板を設置して、水田の雨水貯留効果をフル活用。

【田んぼダムの場合】

【通常の水田の場合】



○大雨時に水田からの排水量を抑制

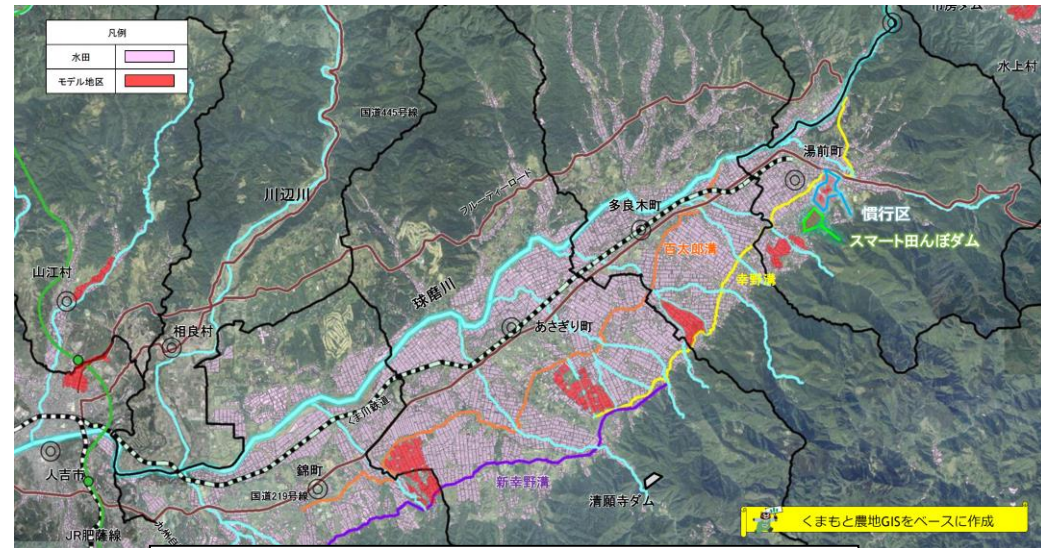
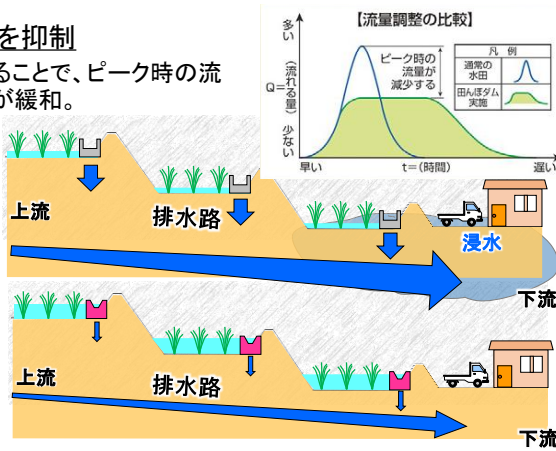
・雨水をできるだけ水田に貯留することで、ピーク時の流量を減少させ、水田からの流出が緩和。

通常の水田の場合

ゲリラ豪雨や想定外の豪雨時には、下流に浸水被害が発生。

田んぼダムの場合

水田に雨水を貯留し、排水路への流出を遅らせ浸水を防止。



人吉・球磨地域における田んぼダム実証実験 位置図

田んぼダムの効果検証、課題を整理

熊本県全域への展開

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

- 森林の整備・保全(水源涵養機能等の維持向上)
- 治山施設の整備(荒廃溪流の復旧等)

森林の維持造成を通じて自然災害から地域住民の生命・財産を守るため、荒廃地等を対象とした植栽及び間伐等の森林整備を行うとともに、令和2年7月豪雨等激甚化する豪雨や台風で被災した管内の治山施設や林地の復旧について、特に緊急性が高い箇所を令和3年度から計画的に実施していきます。

【森林整備】 間伐



【治山】 溪間工



【治山】 山腹工



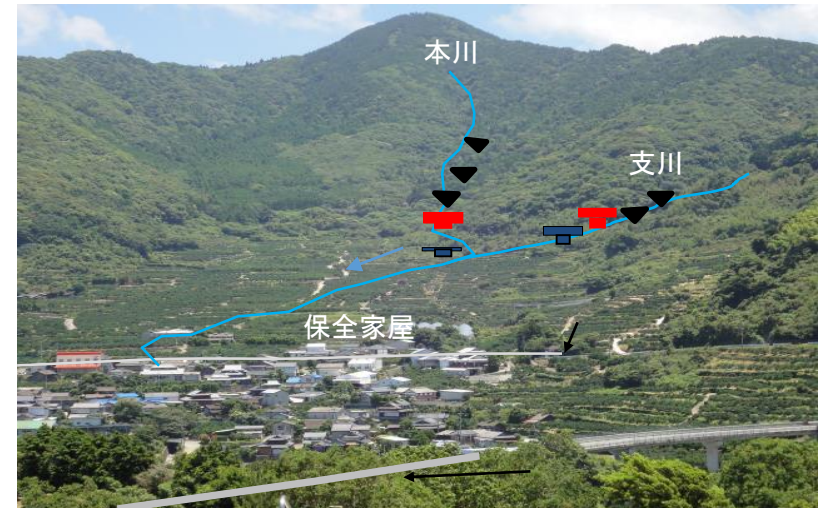
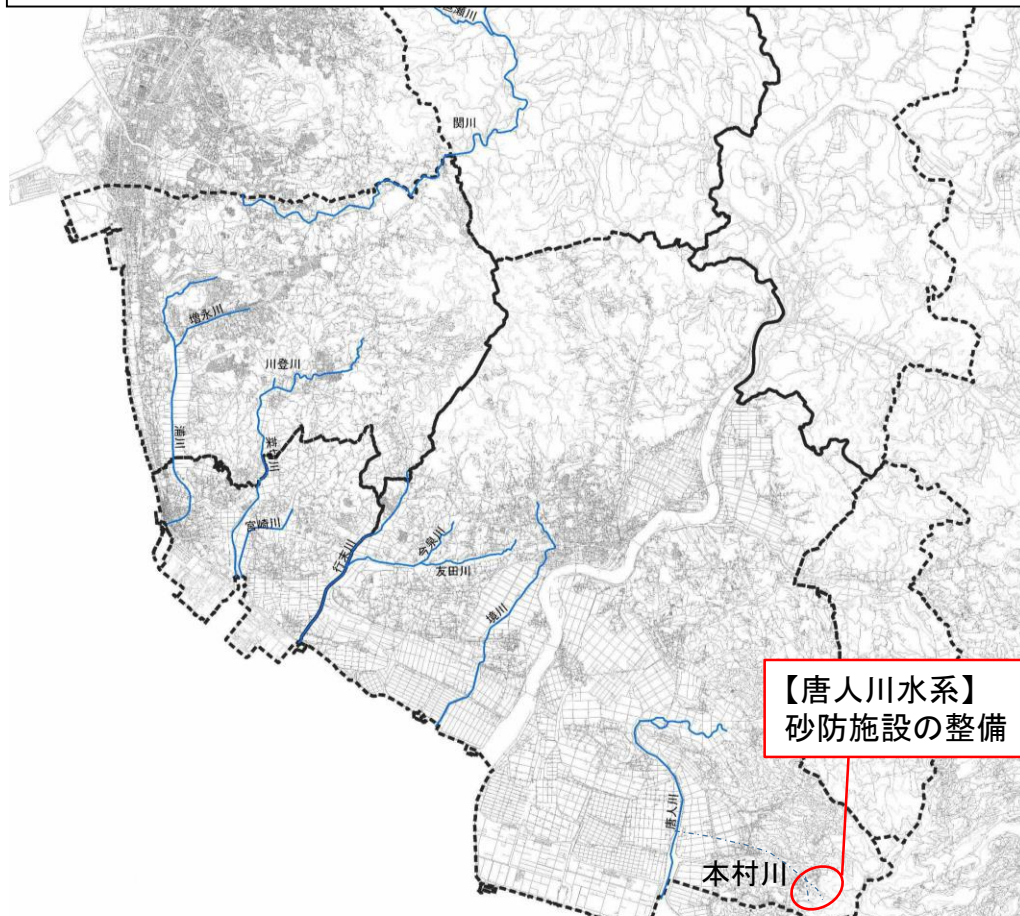
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

■砂防施設の整備

熊本県では、砂防施設を整備することで、土石流による土砂災害を防止し、河川への土砂流出の抑制を図ります。



砂防堰堤イメージ写真

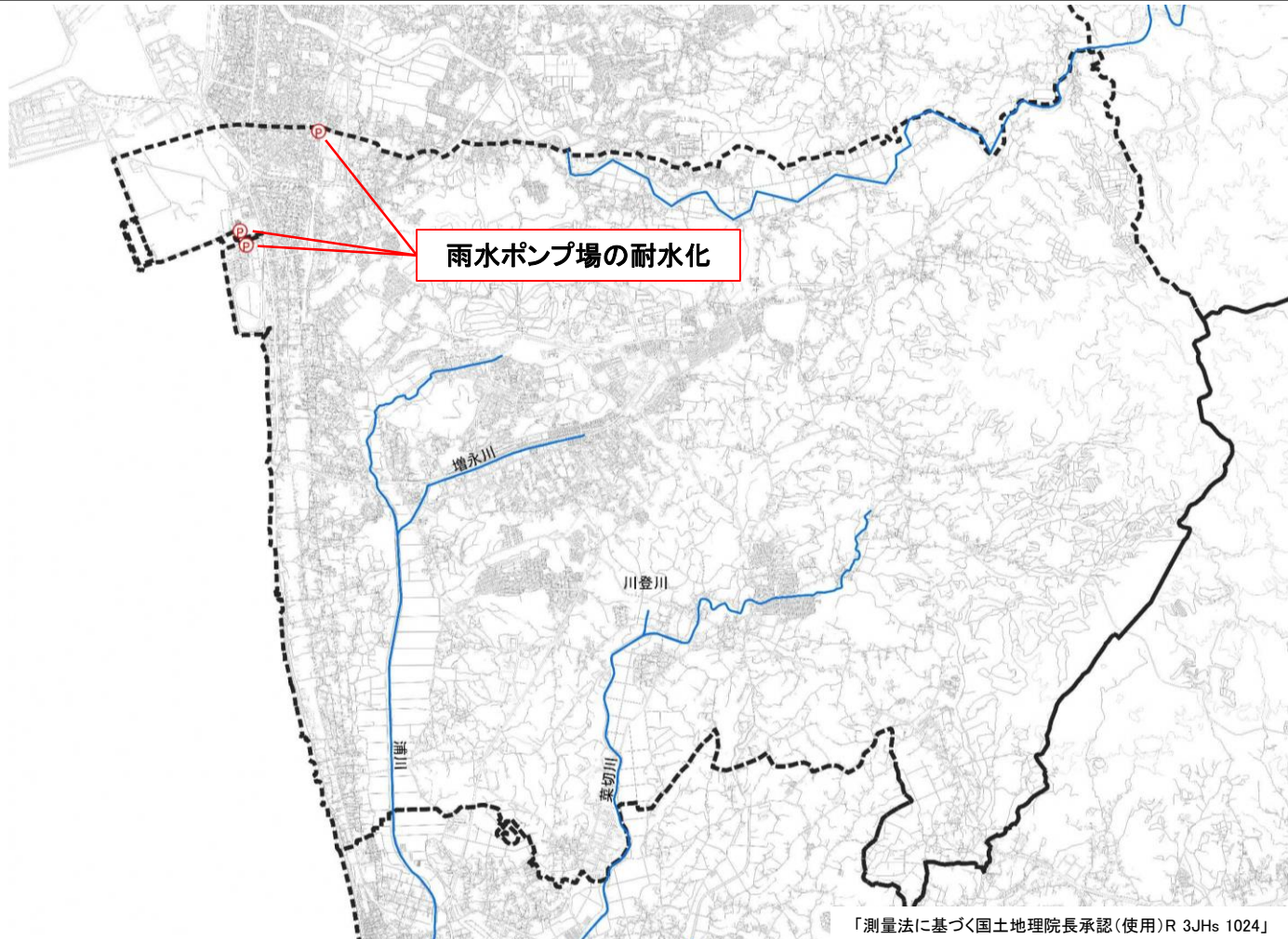
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【荒尾市】

■ 雨水ポンプ場の耐水化

荒尾市では浸水被害の軽減・早期復旧のための対策として、雨水ポンプ場の耐水化等を実施します。



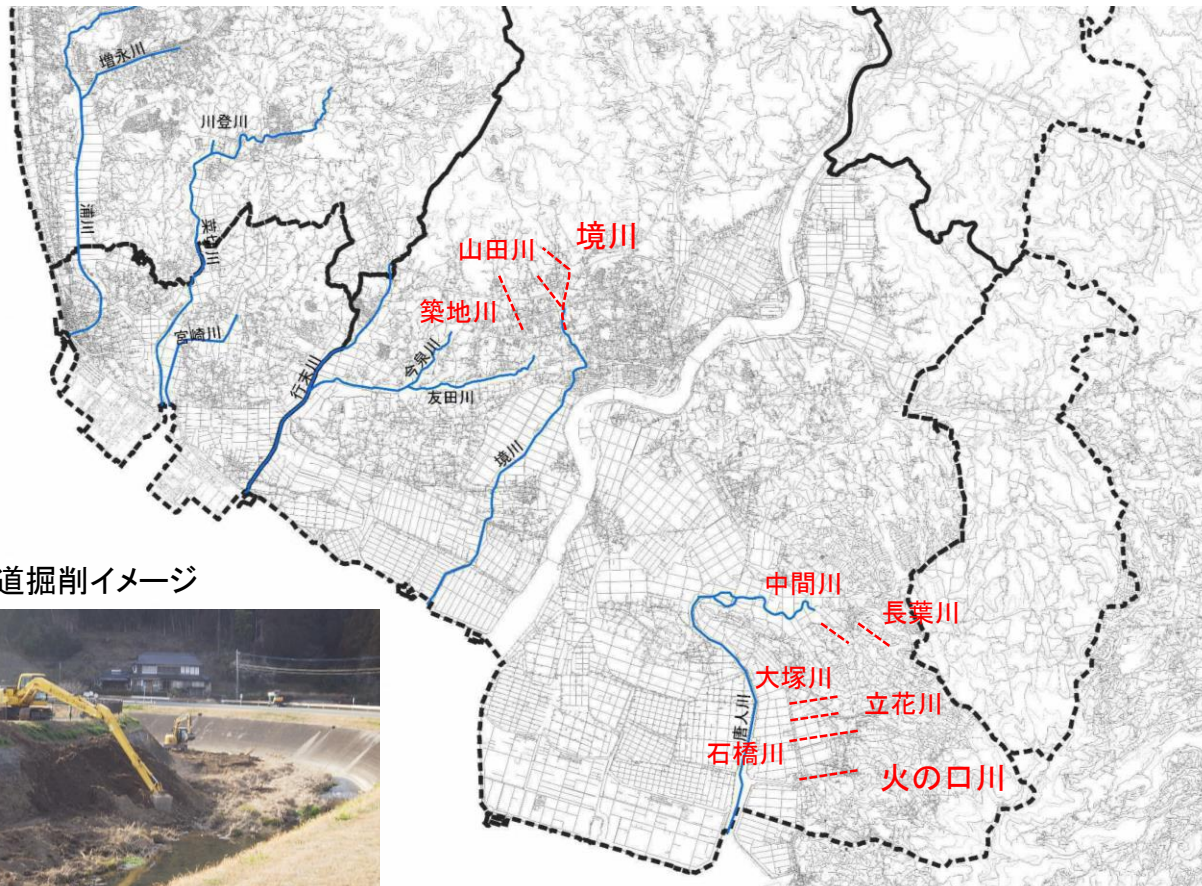
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【玉名市】

■河道掘削

玉名市では浸水被害低減のためのハード対策として、市管理の準用・普通河川における河道掘削を実施します。



河道掘削イメージ



【境川】



【火の口川】



「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 3JHs 1024」

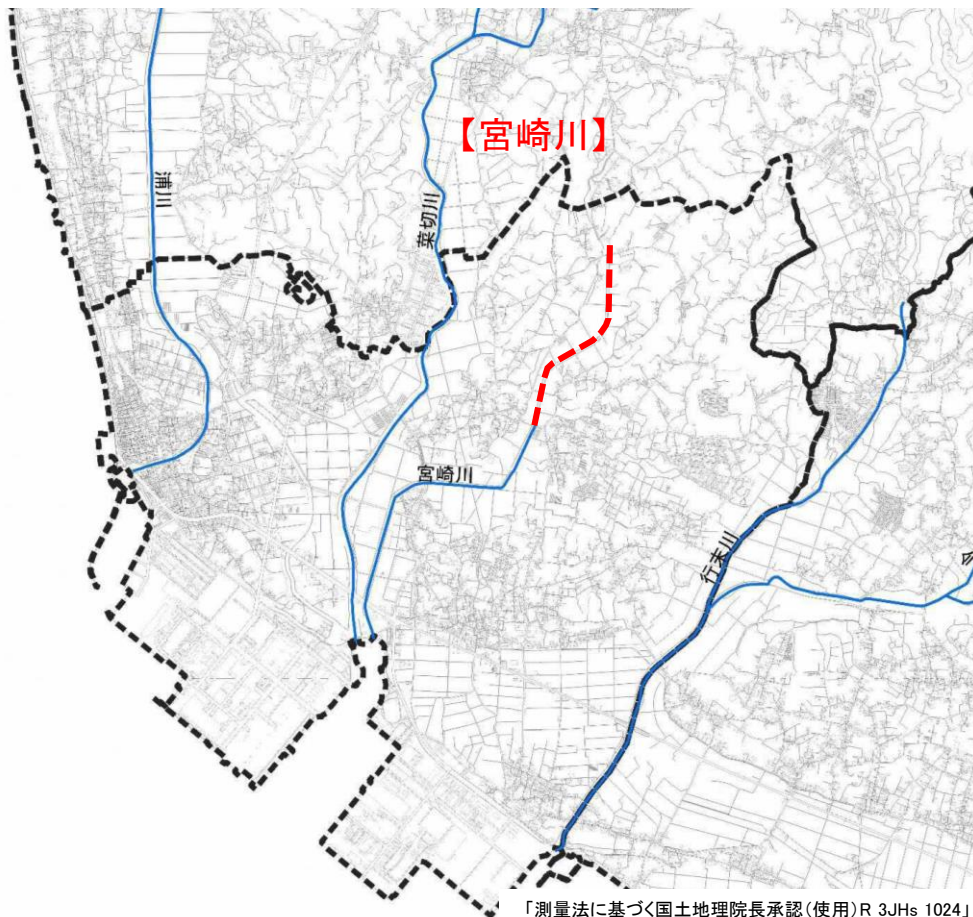
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

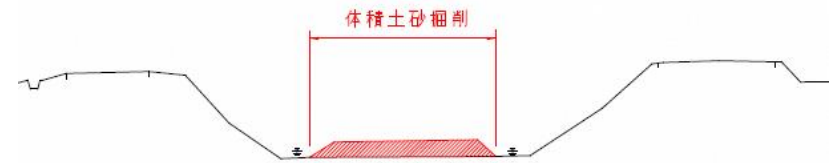
【長洲町】

■河道掘削

長洲町では浸水被害低減のためのハード対策として、河道掘削等を実施します。



河道横断面図



掘削前状況



河道掘削イメージ



玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害対象を減少させるための対策内容

【熊本県】

■土砂災害警戒区域等の指定

住民の生命を守るため、土砂災害が発生する恐れがある土地の区域を指定しています。

基礎調査の実施【都道府県】

- ・地形、地質、土地利用状況等を踏まえて、区域指定及び土砂災害防止対策に必要な机上及び現地調査を実施（机上で地形図・航空写真等を用いて土砂災害のおそれのある箇所を抽出し、現地調査により区域の範囲を設定する。）
- ・基礎調査を基にして、区域指定の案を図示する形でとりまとめ
- ・基礎調査の結果を公表（住民の危険性の認識と、指定促進のため。）

区域の指定【都道府県】

土砂災害警戒区域

○土砂災害による被害を防止・軽減するため、危険の周知、警戒避難体制の整備を行う区域

- 警戒避難体制の整備【市町村等】
- ハザードマップの配布【市町村等】
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成等【施設管理者】

土砂災害ハザードマップの作成・配布
(茨城県銚田市)



住民の避難訓練状況
(沖縄県浦添市)

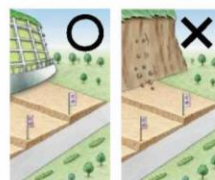


土砂災害特別警戒区域

○避難に配慮を要する方々が利用する要配慮者利用施設等が新たに土砂災害の危険性の高い区域に立地することを未然に防止するため、開発段階から規制していく必要性が特に高いものに対象を限定し、特定の開発行為を許可制とするなどの制限や建築物の構造規制等を行う区域。

- 特定開発行為に対する制限【都道府県】
- 建築物の構造規制【都道府県または市町村】
- 建築物の移転等の勧告【都道府県】

特定開発行為に対する許可制



建築物の構造規制



建築物の移転等の勧告



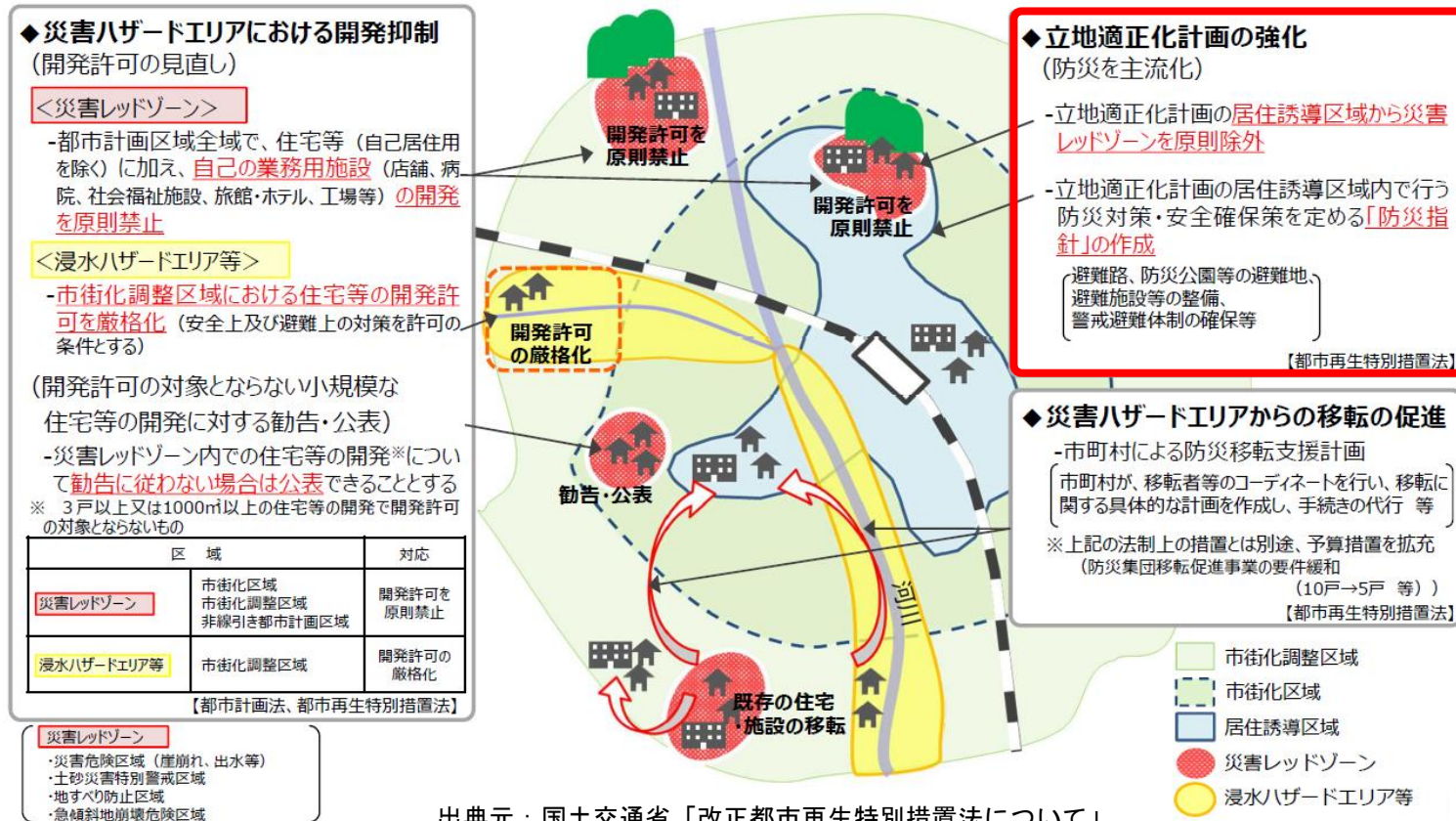
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害対象を減少させるための対策内容

【玉名市】

■玉名市立地適正化計画の策定(防災指針の策定を含む)

- 立地適正化計画の策定(防災指針の策定を含む)により、災害リスクを考慮した安全なまちづくりを進める。
- 災害リスク情報(浸水想定区域等)を活用した居住誘導区域の検討。
- 居住誘導区域内外では、「防災指針」に基づく、防災・減災対策を検討。



出典元：国土交通省「改正都市再生特別措置法について」

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【玉名市】

■ハザードマップの更新・周知

玉名市ホームページで公表されている玉名市総合防災マップには、最新の災害リスク情報(水害、土砂災害等)を取り入れて随時更新し、WEB公開や戸別配布等により広く住民への周知を図ります。

玉名市

総合防災マップ

保存版

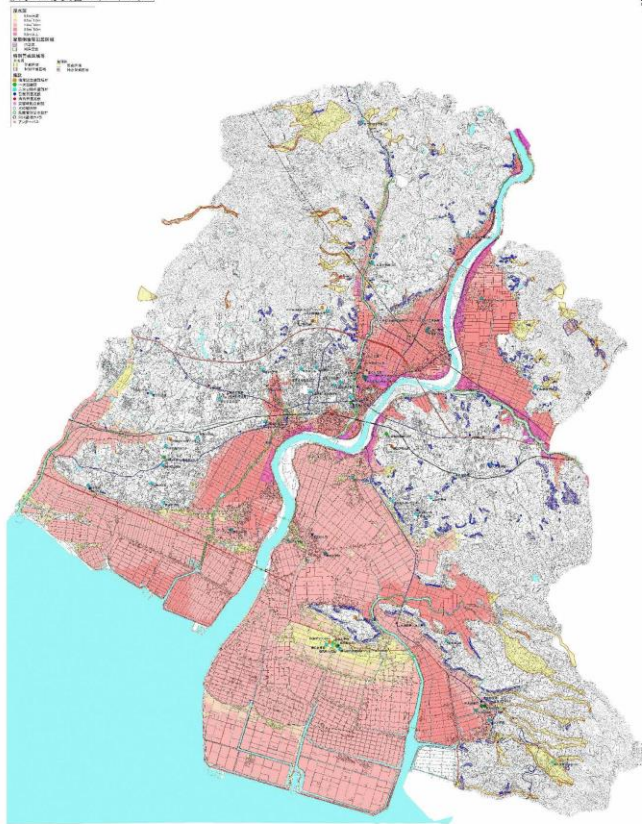


玉名市総合防災マップには、市で想定される被害や、災害が起こったときに必要な情報を示しています。災害に対しては、自分の住む地域の危険性を知ることや、日ごろからの備えが重要です。あなた自身とあなたの大切なひとを守るために、この冊子をご活用ください。

取り出しやすい場所に保管してください

- P.1 ●大雨時の情報 ●警戒レベルと避難行動
- P.2 ●河川の水位情報 ●雨の強さや降り方と災害の危険性等
- P.3 ●洪水定への備え ●お庭でできる簡易水防
- P.4 ●避難のポイント ●水平避難と垂直避難
- P.5 ●土砂災害の種類 ●このような現象があったら要注意
- P.6 ●高潮発生のしくみ ●高潮の被害を受けやすい場所 ●高潮による主な浸水原因
- P.7~54 ●玉名市ハザードマップ(洪水・土砂災害)
- P.55~64 ●玉名市ハザードマップ(高潮)
- P.65 ●室内の安全対策 ●屋外の安全対策
- P.66 ●地震が起きたときにとるべき行動
- P.67~68 ●緊急地震速報を見たら
- P.69~78 ●玉名市ハザードマップ(地震)
- P.79 ●玉名市ハザードマップ(津波)
- P.80 ●津波警報・津波注意報 ●津波から身を守る行動パターン ●自主防災組織の役割と活動 ●地域ぐるみで取り組む防災・減災 ●要配慮者について
- P.81~82 ●施設一覧

洪水・土砂災害ハザードマップ



洪水

大雨時の情報

大雨による被害、死者やけが、避難者が出ることがあります。また、警戒レベルが上がるにつれて浸水被害や土砂災害、土砂災害の発生リスクが高まり、被害の拡大が懸念されます。大雨時の警戒レベルは、大雨の強さや降り方によって変わります。大雨時の警戒レベルは、大雨の強さや降り方によって変わります。

大雨・洪水警戒	大雨・洪水警戒	大雨特別警戒
大雨・洪水警戒	大雨・洪水警戒	大雨特別警戒

警戒レベルと避難行動

警戒レベル	避難行動
レベル5	大雨特別警戒
レベル4	大雨警戒
レベル3	大雨警戒
レベル2	大雨警戒
レベル1	大雨警戒

河川の水位情報

河川名称	観測地点	観測時刻	水位	警戒水位	決壊水位
荒瀬川	荒瀬川	10:00	10.5	11.0	11.5
...

雨の強さ・降り方と災害の危険性

雨の強さ・降り方	災害の危険性
短時間・大雨	土砂災害
長時間・大雨	洪水
短時間・小雨	土砂災害
長時間・小雨	洪水

土砂災害

土砂災害の種類

土砂災害の種類は、急傾斜地の崩壊、土石流、地すべりです。急傾斜地の崩壊は、急な斜面が崩れ、土砂が落下する現象です。土石流は、土砂が水を含み、一気に流れる現象です。地すべりは、土砂が斜面を滑り落ちる現象です。

急傾斜地の崩壊

急傾斜地の崩壊は、急な斜面が崩れ、土砂が落下する現象です。急傾斜地の崩壊は、急な斜面が崩れ、土砂が落下する現象です。

土石流

土石流は、土砂が水を含み、一気に流れる現象です。土石流は、土砂が水を含み、一気に流れる現象です。

地すべり

地すべりは、土砂が斜面を滑り落ちる現象です。地すべりは、土砂が斜面を滑り落ちる現象です。

高潮

高潮発生のしくみ

高潮発生のしくみは、気圧の低下、風の吹き寄せ、津波の襲来によるものです。高潮発生のしくみは、気圧の低下、風の吹き寄せ、津波の襲来によるものです。

高潮の被害を受けやすい場所

高潮の被害を受けやすい場所は、低地、堤防、河川沿い、海岸線などです。高潮の被害を受けやすい場所は、低地、堤防、河川沿い、海岸線などです。

高潮による主な浸水原因

高潮による主な浸水原因は、高潮による浸水、河川からの浸水、海水からの浸水などです。高潮による主な浸水原因は、高潮による浸水、河川からの浸水、海水からの浸水などです。

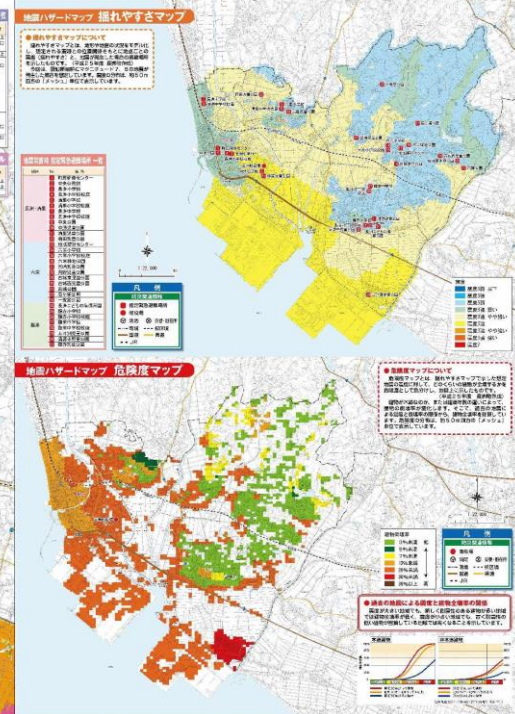
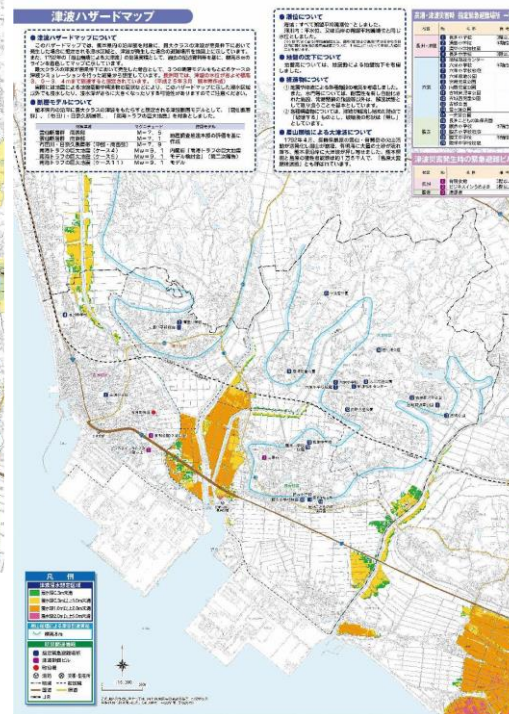
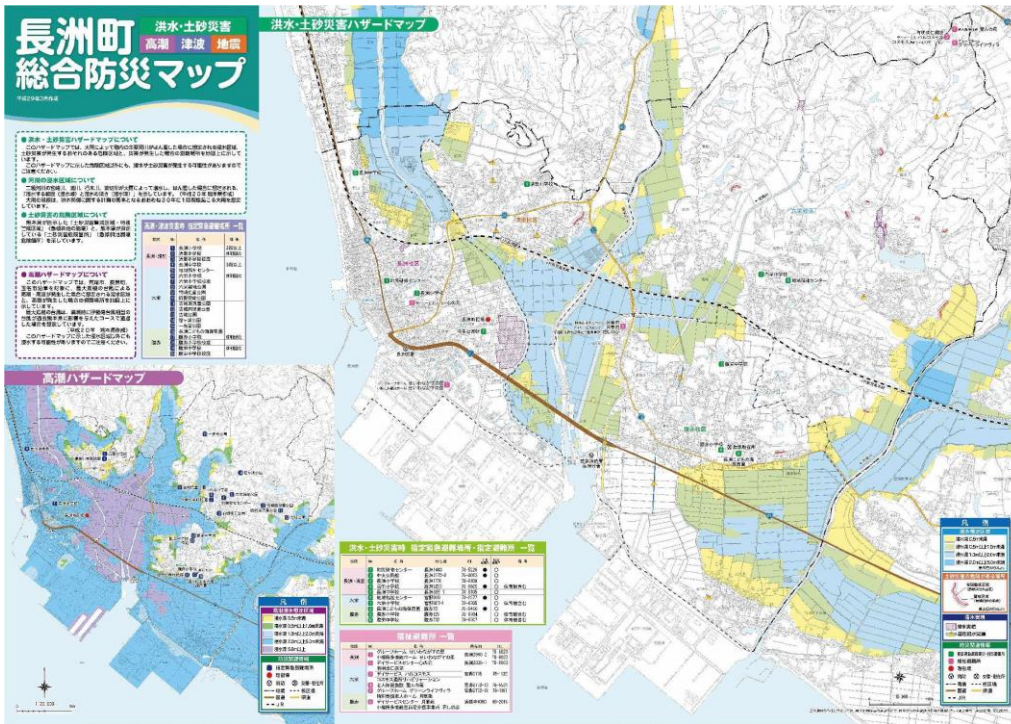
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【長洲町】

■ハザードマップの更新・周知

長洲町ホームページで公表されている長洲町総合防災マップには、最新の災害リスク情報(水害、土砂災害等)を取り入れて随時更新し、WEB公開や戸別配布等により広く住民への周知を図ります。



玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【荒尾市、玉名市、長洲町】

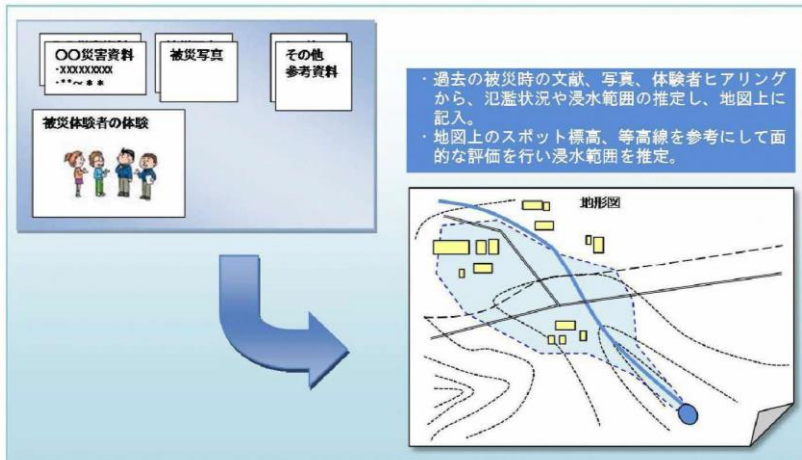
■ため池ハザードマップの作成・周知

万が一ため池が決壊した場合に備えて、迅速かつ安全に避難するための参考資料として「ため池ハザードマップ」を作成します。すでに作成しているため池のマップについては配布・公表し地域の防災活動に活用します。

＜ため池ハザードマップの作成目的の例＞

	地域住民	施設管理者	行政担当者
日常	<ul style="list-style-type: none"> 防災意識の醸成 避難場所及び経路の確認 災害学習会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 管理及び点検の強化 防災意識の向上 地域住民との意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ため池や地域の状況把握 連絡体制の確立 地域防災計画等への反映
非常時	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な避難 災害情報の正確な把握 	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じた操作 施設情報の正確な把握と連絡 予後の点検強化 	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な避難誘導 適切な災害情報の発信 域外からの来訪者の誘導

＜ため池ハザードマップの作成手順＞



＜ため池ハザードマップの作成事例＞



玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【熊本県】

■河川情報の充実(水位計、河川カメラ)

- 水位計、河川カメラの河川情報は防災情報くまもとや川の防災情報でリアルタイム情報を配信しています。
- 河川カメラ等の整備を実施し、住民の避難活動に資する河川情報の充実を図ります。

ライブカメラ情報
更新日時: 2022年2月16日 水曜日 9時6分
水系名: 菜切川水系
河川名: 菜切川
観測地点名: 菜切川(菜切)(県)
住所: 熊本県荒尾市菟屋字高倉

ライブカメラ情報
更新日時: 2022年2月16日 水曜日 9時6分
水系名: 唐人川水系
河川名: 唐人川
観測地点名: 唐人川(琴比羅橋)(県)
住所: 熊本県玉名市天水町小天

凡例

土砂災害警戒情報
【警戒レベル4相当】発表区域

河川水位

- はん濫危険超過
- 避難判断超過
- はん濫注意超過
- 水防団待機超過
- 通常水位
- 欠測/閉局等

洪水

- 極めて危険
- 非常に危険【警戒レベル4相当】
- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】



<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/>

防災情報メールサービスがあなたのケータイへ安心をお届けします。

熊本県では、県民の皆さまの携帯電話、スマートフォンやパソコンに県内の気象警報・注意報や土砂災害警戒情報、地震情報、河川水位情報を配信する『熊本県防災情報メールサービス』を実施しています。

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【熊本県、荒尾市、玉名市、長洲町】

- タイムラインの作成、実効性確保
- マイ・タイムラインの作成支援

タイムラインが策定されていない防災関係機関において策定を支援します。
また、住民一人一人が主体的に避難活動を実施できるようにマイ・タイムラインの作成を推進します。



<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline>

マイ・タイムラインは大雨や台風などの自然災害から私たち自身を守るための防災行動計画です。

あなたと家族の避難行動をあらかじめまとめておくことで、いざという時あわてずに避難できます。

ガイドブックを見ながら「5段階の警戒レベル」や「ハザードマップ（防災マップ）」を確認して、シートを作成してみましょう。

明るいうちから 早めに避難するモン!

熊本県の災害の特徴や水害の歴史

マイタイムラインの作り方

マイタイムラインを作る

マイタイムラインガイドブック

マイタイムラインとは?

「マイタイムライン」は一人ひとりの防災行動計画

- マイタイムラインは大雨や台風などの自然災害から私たち自身を守るための防災行動計画です。
- 私たち一人ひとりがあらかじめ避難行動をまとめておくことで、あなたと家族の行動がはっきりし、いざという時あわてずに避難できます。
- 「5段階の警戒レベル」を確認して、避難を開始する状況やタイミングである「避難スイッチ」がはっきりするように、マイタイムラインを作成しましょう。
- マイタイムラインが自分の命や身近な人の命を守ることに繋がります。

くまもとマイタイムラインシート

家族構成	人(一緒に避難: 人)	自宅の災害リスク*
避難先①	避難先の名称(施設など)	移動時間
避難先②		
緊急避難①		
緊急避難②		

わたしと家族の避難行動

【避難訓練】 月 日 訓練に参加

【防災情報】

【避難準備】 裏面の避難する時の「服装」「持ち出し品」「備蓄品」を準備

【その他】

準備レベル 1 (2~3日前) 早期注意情報 (警報発の可能性)

準備レベル 2 (気象状況が悪くなる) 大雨・洪水注意報 / 氾濫注意情報

準備レベル 3 発表 時刻 大雨・洪水警報 / 氾濫警報発生 高齢者等避難

準備レベル 4 発表 時刻 土砂災害警報発生 / 氾濫危険情報 避難指示

準備レベル 5 (発生後) 大雨特別警報 / 氾濫発生情報 緊急安全確保

くまもとマイタイムラインシート

【家族の連絡先や行動】 ※避難する時に一緒にいないことも想定して書いてください。

名前	携帯電話番号	自宅以外の主な存在場所(職場、学校など)	電話番号	もしもの時の合流場所・連絡方法など

【避難の準備】 ※あらゆる災害を想定し、日ごろから準備しておきましょう。

①避難する時の服装

安全で動きやすい服装を一つにまとめておく(雨・汛期は、防寒対策も十分に行う)
リュックなどの荷手が自由に使える持ちやすいリュックを選ぶ
大雨で道路や歩道が浸水している場合に備えて運動靴を選ぶ(浸水は水が入ると歩きにくくなる)

②避難する時の持ち出し品 ※基本的な品目をチェックし、各自で追加・削除してください。

現金	通帳・印鑑	健康保険証	免許証
懐中電灯/ランタン	乾電池 / (バッテリー)	携帯電話充電器	(ウェット)ティッシュ
飲料水	食料(保存食など)	下着・衣類	靴
防塵着	毛布/寝袋	タオル	眼鏡・コンタクト・保存液
薬・お薬手帳	ハブラシ	生理用品	マスク

③備蓄品リスト ※基本的な品目をチェックし、各自で追加してください。

保存食	インスタント食品	飲料水	給水ポット/タンク
缶詰/缶コップ	ラップ	折り紙	ビニール袋
(ウェット)ティッシュ	タオル	簡易トイレ	

【地震と津波の避難行動】 ※表面(水害)の避難行動のうち「避難開始」以降を中心に参考にすること

【防災訓練】 月 日 訓練に参加

【避難先】 地震と津波の避難先を次表の「避難開始」の下にそれぞれ記入

【避難準備】 上記の避難する時の「服装」「持ち出し品」「備蓄品」を準備

いつ起きるかわからない 地震発生(強い揺れ)

発生後 津波や地震活動に備える

★3つの安全確保行動(まず低く・頭を守り・動かない)
---一緒にいる人の安全確認

＜自宅が揺れた(揺るすおそれがある場合)＞

◎避難開始(とにかく安全な場所へ)

◎避難開始(とにかく安全な場所へ)

津波警報・大津波警報の発表

◎避難開始(とにかく安全な場所へ)

※津波到達まで時間がある場合は、避難先: △(分)

※津波到達まで予想がない場合は、緊急避難先: △(分)

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【熊本県、荒尾市、玉名市、長洲町】

■要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

洪水浸水想定区域内に存在し市町村の地域防災計画に位置付けられた要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成と避難訓練の実施を支援します。

要配慮者利用施設の 避難確保計画

～計画作成をはじめよう～

水防法・土砂災害防止法が改正されました

～要配慮者利用施設における円滑かつ迅速な避難のために～

**「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を実現し、
同様の被害を二度と繰り返さない抜本的な対策が急務**



背景

- 平成27年9月関東・東北豪雨や平成28年8月台風10号等では、逃げ遅れによる多数の死者や甚大な経済損失が発生。
- 全国各地で豪雨が頻発・激甚化していることに対応するため、「施設整備により洪水を防止するもの」から「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を根本的に転換し、ハード・ソフト対策を一体として社会全体でこれに備える水防災意識醸成の再構築への取組が必要。

H27年9月 関東・東北豪雨



孤立者を救助するへり

破壊箇所

鬼怒川

茨城県常陸市 鬼怒川流域 (写真:国土交通省)

H28年8月 台風10号

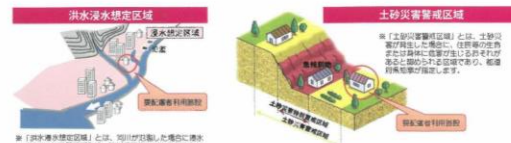


鹿児島県鹿角市 小水川 (写真:国土交通省)

ポイント

洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設※の管理者等は、避難確保計画の作成・避難訓練の実施が義務となりました

※市町村地域防災計画にその義務及び所在地が定められた施設が対象です。



要配慮者利用施設の避難体制の強化を図るための「水防法」及び「土砂災害防止法」が平成29年6月19日に改正されました。

01 避難確保計画の作成

「避難確保計画」とは、水害や土砂災害が発生するおそれがある場合における利用者の円滑かつ迅速な避難確保を図るために必要な事項を定めた計画です。

- ▶防災体制 ▶避難誘導 ▶施設の整備 ▶防災教育及び訓練の実施
- ▶自然水等組織の業務 (※水防法に基づき自然水防組織を置く場合)
- ▶そのほか利用者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な措置 に関する事項

避難確保計画が実行性あるものとするためには、施設管理者等の皆さまが主体的に作成いただくことが重要です。

作成した避難確保計画は、職員のほか、利用者やご家族の方々も日頃より確認することができるよう、その概要などを共用スペースの掲示板などに掲載しておくことも有効です。

02 市町村長への報告

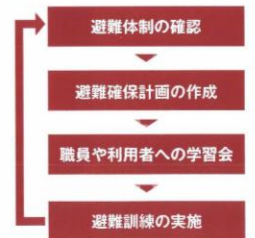
避難確保計画を作成・変更したときは遅滞なく、その計画を市町村長へ報告する必要があります。

- ▶避難確保計画を作成しない要配慮者利用施設の管理者等に対して、市町村長が必要な指示をする場合があります。
- ▶正当な理由がなく、指示に従わないときは、市町村長がその旨を公表する場合があります。

03 避難訓練の実施

避難確保計画に基づいて避難訓練を実施します。職員のほか、可能な範囲で利用者の方々にも協力してもらうなど、多くの方が避難訓練に参加することで、より実効性が高まります。

ハザードマップを活用するなどして、水害や土砂災害に対して安全な場所へ速やかに避難するなど、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域などの地域のリスクの表情に応じた避難訓練を実施することが重要です。



※国土交通省ホームページ「自然災害(避難)について」掲載のイラストより

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

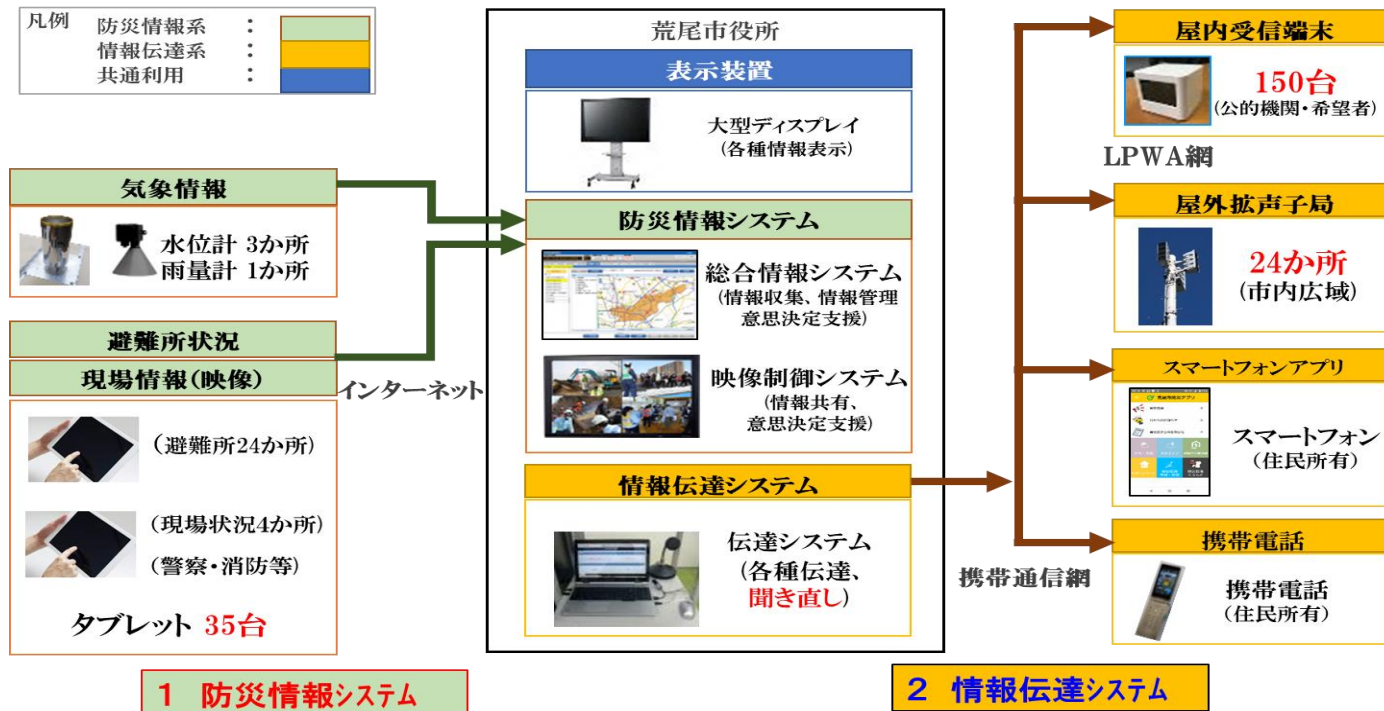
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【荒尾市】

■防災情報伝達手段の強化・防災拠点の整備

荒尾市では、市民の皆様の更なる安全で安心な暮らしを実現するため、防災に関する情報を迅速、確実に伝達する防災情報伝達システムの運用を令和3年4月から開始しました。これは、屋外スピーカーや戸別受信機、スマートフォン向けの防災アプリなど、これまでの登録制メールや市のホームページに加えて、複数の手段を用いて、情報を発信するものです。

また、災害対策本部の機能維持など防災拠点の強化維持のため、大規模災害による停電に備え、太陽光発電や蓄電池を整備しています。



【ポータブル蓄電池】



電池容量: 5656wh



電池容量: 600wh

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【荒尾市】

■避難訓練・防災教育の実施等

荒尾市では、平成19年から防災関係機関との連携強化等を目的に、自主防災組織など住民が参加して総合防災訓練を行っています。また、地区防災計画の策定支援や出前講座を通じて、ハザードマップやマイタイムラインなどを説明し、住民への防災啓発を行っています。

更に、自主防災組織の相互支援体制の強化や行政との連携促進を目的に、自主防災組織連絡協議会を令和4年2月に設立しました。令和3年10～11月には、長洲町と合同で防災士養成講座を行い、地域の防災リーダーの育成を図りました。



出前講座



要支援者搬送訓練【総合防災】



地区防災計画策定支援



自主防災組織連絡協議会
の設立総会



避難所運営訓練【総合防災】



防災士養成講座